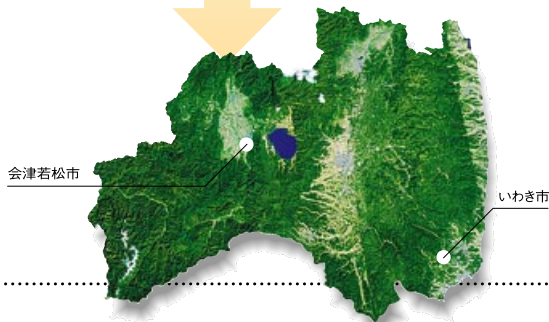


事例



誰もが楽しめる
音楽イベント

いわき市平地区は、昔から商業の拠点として、また文化・教育・歴史の中心地として重要な役割を果たしているいわき市の顔です。ところが、他の地方都市と同じように、平地区にも空洞化の波が押し寄せられています。街角に空き店舗が目立つようになり、若者が歩いていない寂しいまちになっているのです。そんな状況を何とかしたいと、地元で音楽活動をしているグループが中心となって、仙台市の定禅寺通

商店会の協力も得て、街なかのさまざまな場所がステージとなりました。大道芸を真剣に見る子どもたち。みんなが楽しめるイベントです。観客の皆さんは雨の中でも傘をさして立っただけで見てください。



音楽を通じて「街のにぎわい」を

●街なかコンサート実行委員会「いわき市」

りで行われている音楽祭をヒントに、街なかの人を呼び込み、にぎわいを創出して、参加者も観客も一緒に楽しめるイベントを実施しようと考えたのが、「いわき街なかコンサート」です。

ジャンルを超えて
さまざまな
人たちが参加

“コンサート”と名前はない

いますが、音楽に限定されたものではありません。文化の発信地である平地区の特性を生かして、ダンスや大道芸、さらには、絵画や陶芸など多彩なジャンルで活動している人たちも巻き込んで行われています。平地区をまるごと文化芸術祭のようにすることで、子どもから高齢者までさまざまな人たちが街なかを回遊しながら

ら楽しめるイベントに仕上がっているのです。

さらなる活性化には

「久しぶりに街なかにながわいがあつたので立ち寄りました」「嬉しくて全部の会場

「嬉しくて全部の会場を見て回ったよ。」

を見て回ったよ」...

街なかコンサートに訪れた市民の皆さんからは多くの励ましの声が届きます。実行委員会の山本新一さんは、「このイベントがきっかけとなって、街なかを見直す動きにつながれば」とまちづくりの気運が高まることを期待しています。



【地元の思いは同じ、みんながまちを何とかしたいのです】と語る事務局次長の山本さん